



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月6日
上場取引所 東

上場会社名 日東紡
コード番号 3110 URL <http://www.nittobo.co.jp>
代表者(役職名) 取締役代表執行役社長(氏名) 辻 裕一
問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役(氏名) 野崎 有 (TEL) 03-4582-5040
四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	64,593	3.7	9,088	8.7	9,573	11.2	8,966	50.4
29年3月期第3四半期	62,294	△4.9	8,363	0.3	8,607	△0.2	5,963	43.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 11,243百万円(171.4%) 29年3月期第3四半期 4,143百万円(20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	230.78	—
29年3月期第3四半期	149.85	—

(注) 平成29年10月1日付けで普通株式5株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	146,400	87,272	59.0
29年3月期	140,182	78,281	55.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 86,360百万円 29年3月期 77,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
30年3月期	—	3.50	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	17.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成29年10月1日付けで普通株式5株につき普通株式1株の割合で株式併合を実施しており、期末配当予想の17円50銭は当該株式併合を勘案した1株当たり配当金を記載しております。なお、当該株式併合を勘案しない場合の1株当たり期末配当金は3円50銭となり、中間配当金3円50銭と合わせた1株当たり年間配当金は7円00銭となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	2.0	11,500	3.2	11,600	1.8	10,000	33.7	257.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は株式併合を勘案しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	39,935,512株	29年3月期	39,935,512株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,130,218株	29年3月期	849,066株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	38,853,282株	29年3月期3Q	39,793,180株

(注) 平成29年10月1日付けで普通株式5株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資を中心とした内需や堅調な外需に支えられ、緩やかな回復基調が続きました。また、地政学的なリスクはあるものの、世界経済も緩やかな回復が続きました。

このような環境の下、当社グループは中期経営計画『Go For Next 100』に基づき、高付加価値品へのシフト、生産性向上や原価低減を加速させるとともに、成長のための設備投資や研究開発に注力しました。

この結果、日東紡グループの売上高は645億93百万円（前年同四半期比3.7%の増収）、営業利益は90億88百万円（前年同四半期比8.7%の増益）、経常利益は95億73百万円（前年同四半期比11.2%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89億66百万円（前年同四半期比50.4%の増益）になりました。

各事業部門における取り組みは以下の通りです。

繊維事業では、主力の芯地販売が日本国内で低迷しましたが、中国国内での拡販に努めました。また、原糸および「日東紡のふきん」などの二次製品販売も低迷しましたが、スポーツ向け等を含めた高付加価値品の開発・販売等に努めました。この結果、当事業は売上高38億16百万円（前年同四半期比0.9%の増収）、営業損失は3億13百万円（前年同四半期は営業損失2億68百万円）となりました。

グラスファイバー事業部門に属する原織材事業、機能材事業、設備材事業では、高付加価値品へのシフトを加速させ、営業活動の強化および原価低減に取り組むことにより収益性の向上に努めました。グラスファイバー事業部門に属する各事業の具体的な取り組みは以下の通りです。

原織材事業では、強化プラスチック用途の複合材の販売が、スマホ・タブレット向けの高付加価値品を中心として好調に推移しました。また、ガラスヤーンなどの高付加価値品の生産能力増強や生産効率化を推進しました。この結果、当事業は売上高223億33百万円（前年同四半期比13.5%の増収）、営業利益は51億99百万円（前年同四半期比42.3%の増益）となりました。

機能材事業では、電子材料用途の需要は堅調な状態が持続しましたが、一部高付加価値品の生産が一時的に低下しました。この結果、当事業は売上高104億34百万円（前年同四半期比0.8%の増収）、営業利益は17億30百万円（前年同四半期比11.8%の減益）となりました。

設備材事業では、設備・建設資材向けのガラスクロスの販売が伸び悩みました。住宅向け断熱材の需要は安定的に推移しましたが、第1四半期に実施した大型の設備改修により収益が悪化しました。この結果、当事業は売上高162億88百万円（前年同四半期比2.2%の減収）、営業利益は7億13百万円（前年同四半期比53.8%の減益）となりました。

ライフサイエンス事業では、免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力するとともに、原価低減に努めました。スペシャリティケミカル分野においては、高付加価値品を国内外に安定的に供給しました。また飲料分野では、多品種小ロットの需要への幅広い対応に加えて、新規顧客獲得に注力しました。この結果、当事業は売上高100億60百万円（前年同四半期比3.2%の増収）、営業利益は25億38百万円（前年同四半期比5.0%の増益）となりました。

その他事業は、不動産・サービス事業などの収益確保に取り組みました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,229	20,189
受取手形及び売掛金	24,077	26,874
商品及び製品	4,912	5,910
仕掛品	3,129	3,210
原材料及び貯蔵品	13,323	15,205
繰延税金資産	1,784	1,290
その他	2,209	1,211
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	67,660	73,887
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,156	11,497
機械装置及び運搬具（純額）	8,697	8,505
土地	16,847	14,724
リース資産（純額）	3,558	3,144
その他（純額）	793	3,161
有形固定資産合計	42,053	41,033
無形固定資産	1,687	1,521
投資その他の資産		
投資有価証券	25,443	27,495
退職給付に係る資産	240	240
繰延税金資産	1,865	1,015
その他	1,267	1,241
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	28,780	29,957
固定資産合計	72,521	72,512
資産合計	140,182	146,400

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,806	10,222
短期借入金	4,827	4,612
1年内返済予定の長期借入金	6,747	5,474
リース債務	594	575
未払法人税等	1,633	1,949
賞与引当金	1,284	456
その他	6,051	7,725
流動負債合計	28,946	31,016
固定負債		
長期借入金	11,667	7,112
リース債務	3,522	3,119
修繕引当金	5,438	5,992
退職給付に係る負債	11,051	10,560
その他	1,275	1,326
固定負債合計	32,954	28,110
負債合計	61,901	59,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	36,313	43,818
自己株式	△1,757	△2,536
株主資本合計	73,292	80,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,382	7,319
為替換算調整勘定	935	1,011
退職給付に係る調整累計額	△2,220	△1,990
その他の包括利益累計額合計	4,097	6,341
非支配株主持分	890	912
純資産合計	78,281	87,272
負債純資産合計	140,182	146,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	62,294	64,593
売上原価	39,762	41,184
売上総利益	22,531	23,409
販売費及び一般管理費	14,167	14,320
営業利益	8,363	9,088
営業外収益		
受取利息	10	16
受取配当金	488	623
受取賃貸料	60	61
その他	135	158
営業外収益合計	695	859
営業外費用		
支払利息	246	183
為替差損	5	24
その他	199	166
営業外費用合計	451	374
経常利益	8,607	9,573
特別利益		
固定資産売却益	5	4,033
投資有価証券売却益	—	529
特別利益合計	5	4,563
特別損失		
固定資産処分損	124	161
減損損失	25	728
災害による損失	—	278
その他	—	36
特別損失合計	150	1,204
税金等調整前四半期純利益	8,462	12,933
法人税、住民税及び事業税	1,762	3,467
法人税等調整額	702	471
法人税等合計	2,465	3,938
四半期純利益	5,997	8,994
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,963	8,966

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	5,997	8,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△221	1,943
繰延ヘッジ損益	△47	—
為替換算調整勘定	△1,806	75
退職給付に係る調整額	220	230
その他の包括利益合計	△1,854	2,249
四半期包括利益	4,143	11,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,106	11,209
非支配株主に係る四半期包括利益	36	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維 事業	原繊維材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,781	19,671	10,353	16,659	9,752	60,217	2,076	62,294	—	62,294
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8	4,700	16	217	293	5,235	793	6,029	△6,029	—
計	3,789	24,371	10,369	16,876	10,045	65,452	2,870	68,323	△6,029	62,294
セグメント利益 又は損失(△)	△268	3,653	1,962	1,543	2,416	9,307	205	9,512	△1,148	8,363

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,148百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	繊維 事業	原繊維材 事業	機能材 事業	設備材 事業	ライフ サイエンス 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	3,816	22,333	10,434	16,288	10,060	62,934	1,659	64,593	—	64,593
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3	4,493	26	170	263	4,956	1,251	6,208	△6,208	—
計	3,819	26,826	10,461	16,458	10,324	67,890	2,911	70,802	△6,208	64,593
セグメント利益 又は損失(△)	△313	5,199	1,730	713	2,538	9,867	△107	9,759	△670	9,088

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△670百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「機能材事業」に含まれていた㈱双洋の一部事業につき、「原織材事業」及び「設備材事業」に、また、従来「設備材事業」に含まれていた㈱日東紡テクノにつき、「その他」に変更しております。さらに、従来「環境・ヘルス事業」としていた報告セグメントの名称を「ライフサイエンス事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

(追加情報)

平成29年8月23日に香港・マカオ地域に上陸した台風13号により当社の連結子会社である日東紡澳門玻織紡織有限公司が被害を受けたことに伴い、当第3四半期連結累計期間において「災害による損失」として278百万円、「減損損失」として473百万円を特別損失に計上しております。

なお、現時点で合理的に見積もることが困難な費用等については、「災害による損失」には含めておりません。